これならやれる。 仮想環境を使った Unityによる単体テストへの挑戦

2022/10/30 組込みCI研究WG 見澤

C言語向けテストハーネスUnityは、 インストールが意外と大変です。 ですが、仮想環境(Docker)を使うと インストールが楽です。 今回はDockerが使える環境をなんとか用意でき る人向けにネイティスCコンパイラとUnityを使った 単体テストの導入方法の紹介をします。 次回はCMOCKを活用し、依存関係があるモジュー ルの単体テストの実施方法を紹介します。

■参考文献

James W. Grenning (著), 蛸島 昭之 (監修), 笹井 崇司 (翻訳). テスト駆動開発による組み込みプログラミング 一C言語とオフジェクト指向で学ぶアジャイルな設計, オライリージャパン, 2013, 36p

■参考Webサイト

https://github.com/ThrowTheSwitch/

https://goyoki.hatenablog.com/entry/20120519/1337441410 https://qiita.com/iwatake2222/items/396959d1d7dffee479f7

https://futurismo.biz/archives/1281/

■前提 dockerが使える環境を用意する。

< 私見>
WindowsにWSL2をインストールして
Linuxを使えるようにするのが良いと思います。
MACは使ったことないので、分かりません。



ローカル

単体テスト実行

コンテナ (MadScienceLabDocker)

プロダクトコード

テストコード

マウント

(コンテナ内 からローカル のディレクトリ を参照する) プロダクトコード

テストコード

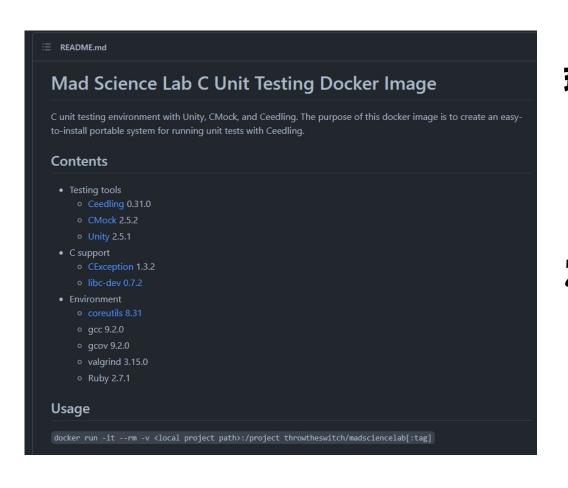
ネイティブCコンパイラ

Unity, CMock, Ceedling

コーディング、コード修正

Docker(仮想環境)

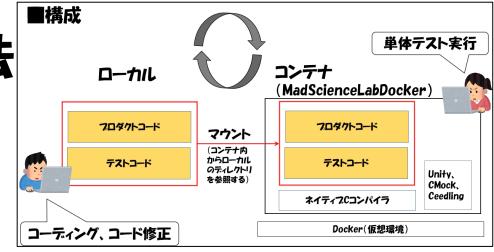
■MadScienceLabDocker Unityが使える環境を準備するのに、 本Dockerイメージを使うのがお勧め。(取得方法:次ページ)



理由

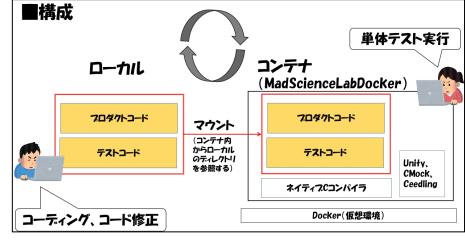
- 1. Linuxを使うスキルに自信が無い場合、 一からUnityが使える環境を 自分で準備できない。 または時間がかかる。
- 2. MadScienceLabDockerを使うと、 Unityを含めた便利ツールが すぐ使えるようになる。

■MadScienceLabDockerの取得方法



\$ git clone https://github.com/ThrowTheSwitch/MadScienceLabDocKer.git

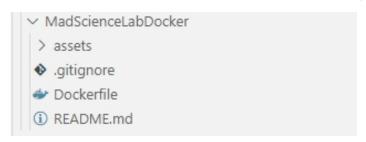
■コンテナの実行方法



docker run -it --rm -v <local project path>:/project throwtheswitch/madsciencelab[:tag]

(例)

1. ローカルのMadScienceLabDockerディレクトリに移動



2. \$docker run -it --rm -v ~/environment/dev/unittest2/hoge:/project/hoge throwtheswitch/madsciencelab

■新規プロジェクト作成

ceedling new YourNewProjectName

(例)

1. コンテナでマウントしたhogeディレクトリの中にあるhoge3ディレクトリに移動

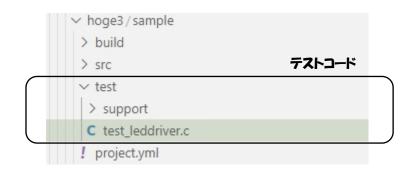
2. 新規プロジェクト作成 \$ceedling new sample



テンプレート(src、test、etc)が入った、 指定したsampleという名前のディレクトリが作られる。

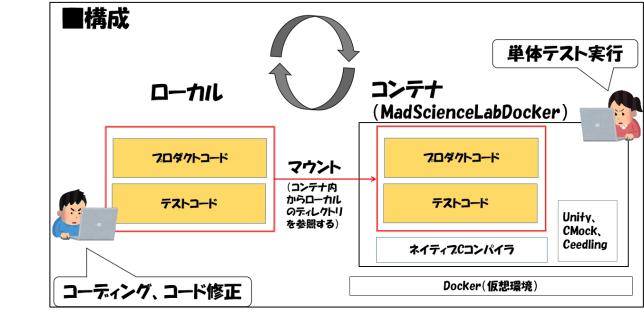
■テストコードの作成

ローカルでテストコードを作成する。



テストコード

```
environment > dev > unittest2 > hoge > hoge3 > sample > test > C test_leddriver.c > ...
       #include "unity.h"
       #include "leddriver.h"
       void setUp(void)
       void tearDown(void)
 10
 11
       void test init led address(void)
 13
           uint16 t virtualleds = 0xffff;
 14
           LedDriveer Create(&virtualleds);
 15
           TEST_ASSERT_EQUAL_HEX16(0, virtualleds);
 16
 17
```



■プロダクトコードの作成

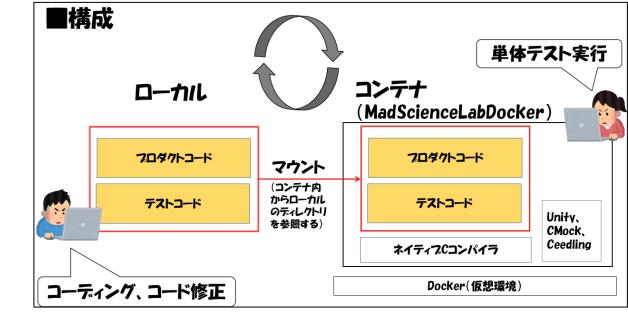
ローカルでプロダクトコードを作成する。



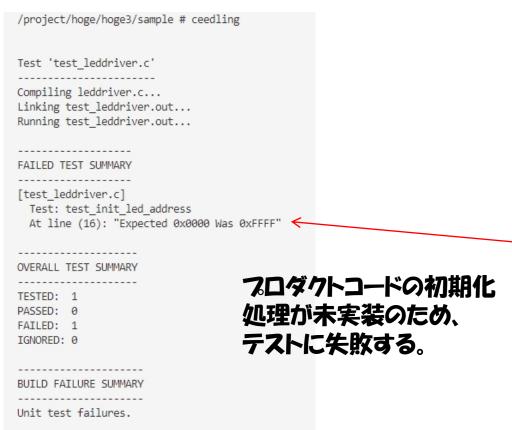
プロダクトコード

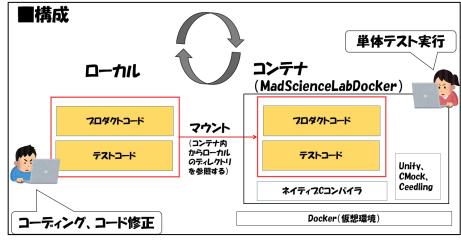
```
environment > dev > unittest2 > hoge > hoge3 > sample > src > C leddriver.h > ...

1  #ifndef _H_LEDDRIVER_
2  #define _H_LEDDRIVER_
3
4  #include <stdint.h>
5
6  extern void LedDriveer_Create(uint16_t *address);
7
8  #endif /* _H_LEDDRIVER_ */
9
```



■単体テスト実行 コンテナでceedlingコマンドを実行。





テストコード

```
environment > dev > unittest2 > hoge > hoge3 > sample > test > C test_leddriver.c > ...
  1 #include "unity.h"
       #include "leddriver.h"
       void setUp(void)
       void tearDown(void)
 10
 11
       void test init led address(void)
 13
 14
           uint16 t virtualleds = 0xffff;
 15
           LedDriveer_Create(&virtualleds);
           TEST ASSERT EQUAL HEX16(0, virtualleds);
 17
 18
```

プロダクトコード

```
environment > dev > unittest2 > hoge > hoge3 > sample > src > C leddriver.c > ...

1 #include "leddriver.h"

2 3 void LedDriveer_Create(uint16_t *address)

4 {
5 }

初期化処理が未実装

6
```

■プロダクトコードの修正

ローカルでプロダクトコードを修正する。

■構成 単体テスト実行 コンテナ ローカル (MadScienceLabDocker) プロダクトコード プロダクトコード マウント (コンテナ内 からローカル テストコード テストコード のディレクトリ Unity, を参照する) CMock. Ceedling ネイティブCコンパイラ Docker(仮想環境) コーディング、コード修正

修正前



修正後

■単体テストの再実行

コンテナでceedlingコマンドを実行。

修正前



修正後



